

SDGs 宣言達成状況報告書

私たちは、宣言書に記載した取組目標の達成状況を次のとおり報告し、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

報告日 2022 年 2 月 10 日

事業所・団体等又は関連事業者等としての2030年の（又は中長期的な）あるべき姿			
必要とする人へ、医療・福祉に必要なサービスを加え、必要なサービスを組み合わせた地域包括ケアを提供する。			
事業所・団体等又は関連事業者等としてのねらい、特徴的な活動			
生活困窮者を济う・医療で地域の生を守る・医療と福祉、会を挙げて切れ目のないサービスを提供する。この3本を柱として、地域における役割を果たすことができるよう各施設の連携を図り、質の高い医療・福祉サービスを提供する。			
目標に関連する取組内容			
ゴール	2021年12月31日までの取組目標	左記取組目標の達成状況	2022年12月31日までの取組目標
	無料または低額な料金によって医療・福祉を提供・生活困窮者支援事業の積極的推進について ・総合病院による無料低額診療事業は、全患者数の1割に相当する方を対象に実施を目標とする。（2021年度） ・生活困窮者支援事業は各年度の目標を達成する。	・静岡市静岡医師会と外国人健診を実施 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため生活困窮者の受入を停止している（川奈臨海学園） ・利用者負担軽減制度について、利用案内書に明記し、利用者に説明を行い申請を勧めた。（小鹿苑） 【4-12月実績】 ・無低：7.6% 面接実施数は、2020年4-12月：393件、2021年4-12月：529件で前年比35%増であったが、減免実施に結び付く件数は減少。また、無低利用の長期入院患者も減少しており昨年に比べ減免率は低下している。	・受入可能な施設退所者等の生活困窮者支援を実施する（川奈臨海学園） ・利用者負担軽減制度を利用者に案内する。（小鹿苑） ・民生委員・児童委員協議会への啓蒙活動を再開し始めたため、来年度も継続する。 ・非課税世帯の患者さんの掘り起こしに、限度額適用認定証と併せオンライン資格確認を活用する。 ・地域包括ケア連携士の相談会でも地域住民に周知していく。
	虐待高齢者、虐待障害者の緊急受け入れ・施設利用者へのインフルエンザワクチンの接種・社会福祉施設利用者、刑与者等へ健康診断費用の減免・外国人無料健康相談の実施 上記の継続・更なる推進	・新型コロナウイルスワクチンの職域接種を実施（対象者：職員および職員家族、要請のあった企業社員および社員家族） ・令和3年12月より地域包括ケア連携士による「なんでも相談会」を隔月開催 ・福祉施設利用者へのワクチン接種 ・虐待事案に対して、緊急短期入所の受入を行った 【4-12月実績】（総合病院） ・高齢・障害・刑余者等の施設利用者への健康診断費用の減免：917人 ・生活困窮者支援施設の入所者への無料インフルエンザ予防接種：7人	・福祉施設利用者へのワクチン接種の継続 ・虐待高齢者の緊急短期入所の受入 ・職域接種（追加接種）の実施 ・高齢・障害・刑余者等の施設利用者への健康診断費用の減免事業の継続 ・生活困窮者支援施設の入所者への無料インフルエンザ予防接種事業の継続 ・外国人無料検診会：40人
	公開講座開催による地域住民への啓蒙・専門職を目指す者への奨学金制度の活用について ・総合病院で開催（年2回） ・現在、看護師及び外国人で介護職を目指す者が活用しているが他専門職へも拡充していく	・地域住民への公開講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見送り（静岡市教育委員会からの依頼により静岡済生会総合病院長による出張授業を実施【駿河区内中学校三校】） ・介護職を目指す外国人留学生へ奨学金貸与を行った（2名） ・消防署への訪問看護の講義 ・地域住民に対し電話相談受付	・オンラインなどを活用した公開講座の開催 ・介護職を目指す方への奨学金貸与。
	・女性職員の管理職への積極的登用	・女性職員の積極的採用 ・5つの施設で女性施設長が活躍している ・病院の管理監督者18名中7名が女性 女性比率38%（病院）	・昇格者研修、人事評価、休暇取得促進等、女性が働きやすい職場づくりを推進する。
	・施設内照明等順次LED化の推進 ・エコアクション21の取得	・病院東館と南館の一部はLED化が済んでいる。 ・新築施設内は全てLED化した（既存の施設についても3施設で対応済）	施設設備計画等と調整をしつつ、順次LED化を図る。 コロナ禍における病院事業との両立困難なためエコアクション21の次回更新は見送ることとしたが、今後も環境を配慮した取り組みを継続する。

	<p>障害者雇用・同一労働同一賃金の積極的推進</p>	<p>正規・非正規の不合理な格差を解消している（川奈臨海学園） 障害者雇用の促進（障害者雇用率2.39%は法定雇用率を達成している。）</p>	<p>・引き続き正規・非正規の不合理な格差を解消する（川奈臨海学園） ・障害者雇用の推進（積極的な求人を行い、行政と同じ2.6%を目標とする） ・障害者の職域を広げる。 ・就労支援の充実を図る。</p>
	<p>リモート会議の推進と介護ロボット等の導入</p>	<p>・静岡医療福祉センター成人部にてICT導入…利用者家族との面会をリモートにより実施 ・定期開催していた階級別研修をリモートで開催 ・可能な限りリモート会議を推奨している ・病院内にリモート会議やWEB研修受講のためのメディアルームを設置</p>	<p>・引き続き可能な限りリモート会議を実施する ・介護ロボットや見守り機器の導入検討</p>
	<p>発達障害者支援センターにおいて就労を希望する方、就労している方に、関係機関と協力して支援の実施・保護観察所、観察官と連携し、保護観察対象者等の社会貢献活動を受け入れ・少年院在院者の実習先として受入・更生に貢献している ・就労支援等相談業務 年間250件 ・保護観察者の受け入れ年間16名 ・少年院在院者受け入れ年間16名</p>	<p>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護観察者支援の受入を停止している（川奈臨海学園）</p>	<p>・受入可能な保護観察者支援を実施する（川奈臨海学園）</p>
	<p>自治体や地域との災害時の協力（一部福祉施設は各自自治体と福祉避難所契約を締結。また、地域の防災訓練にも参加） 上記の継続・更なる推進</p>	<p>・令和3年12月より地域包括ケア連携士による「なんでも相談会」を隔月開催 ・実施される地域防災訓練に参加している ・福祉避難所に指定されている（小鹿なでしこ苑） ・ステーション協議会の研修に参加し、他ステーションと協力し災害時BCPを作成 ・自治体や関連団体の訓練及び連携に関する協議会への参加で連携を密にする体制を構築。（病院）</p>	<p>・今後も地域との協力体制を維持する ・具体的な受入方法について検討する（小鹿なでしこ苑） ・地域住民等の施設内防災訓練への参加依頼 ・災害時BCPの完成</p>
	<p>・静岡DCATへの登録（現4施設）から6施設を追加登録し、各災害医療訓練等へ参加する。</p>	<p>・熱海伊豆山地区豪雨災害の際にDMAT、DWATを派遣（のべ8日間） ・DWATへの追加登録 ・静岡DWAT登録員が訓練に参加した（川奈臨海学園） ・地域防災訓練への参加</p>	<p>・静岡DWAT登録員を増員していく ・研修等を通して静岡DWATへの理解を深める ・静岡DWAT研修への参加 ・災害医療訓練への参加 ・DMATについては技能維持のための研修会への継続参加と、隊員の確保に努める（病院）</p>
	<p>コンプライアンスの徹底 新任施設長等は、副法令順守責任者として研修を受講後、各施設において伝達講習を実施する。</p>	<p>・年1回のコンプライアンス研修を実施するとともに、随時、法令を順守するよう指導、助言を行った</p>	<p>・年1回以上コンプライアンス研修を実施する ・研修、助言、指導を継続して、法令順守の意識向上を図り、職場全体の風土を築く</p>
		<p>・授産品展示即売を行う「福祉楽市」への参加</p>	<p>・「福祉楽市」出展をふまえ、自主製品の開発を検討</p>

（記載上の注意）

- 1 取組目標は**3つ以上のゴール**について**目標を設定し、記載**してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 取組目標は、出来る限り定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。
- 5 取組目標については、毎年1月に達成状況を報告していただきます。

様式第2号（第6条関係）

1	事業所・団体等又は 関連事業者等の名称	社会福祉法人恩賜財団済生会支部静岡県済生会	
		本社が届け出る場合は、事業所（支店・営業所等）の数	
2	業 種	12. 医療、福祉	
3	従業員（構成員）数	2,025 人	
4	代表者 職・氏名	職 名	支部長
		氏 名	石山 純三
5	所 在 地	〒 422-8527	
		静岡市駿河区小鹿一丁目1番1号	
6	ホームページURL	http://www.siz-saiseikai.jp	